

病院見学を随時受け付けています

希望する日時・診療科等お知らせください

- ▶詳しくはHPをご覧ください <https://www.hosp.niigata.niigata.jp/>
- ▶教育研修室 kensyu@hosp.niigata.niigata.jp

HPは
コチラ



Access

- ▶JR新潟駅南口よりバス
「新潟市民病院」下車すぐ
- ▶JR新潟駅南口より車で約15分
- ▶日本海東北、磐越、北陸各自動車道
新潟中央ICより車で約2分
- ▶新潟空港より車で約30分



駐車場の
ご案内



新潟市民病院

〒950-1197 新潟市中央区鐘木463番地7
TEL 025-281-5151 FAX 025-281-5187
<https://www.hosp.niigata.niigata.jp/>
教育研修室 kensyu@hosp.niigata.niigata.jp

NIIGATA CITY
GENERAL HOSPITAL

Be a top doctor!



臨床研修GUIDE



新潟市民病院

研修の特色

1 豊富な臨床経験を積むことができる

100万人を診療圏にもち、地域の基幹病院として、重症・専門・救急を中心に質の高い医療を実践しています。

4 ロールモデルをきっとみつけることができる

医師としての成長でロールモデルを見つけることは非常に大切です。自身の役割やキャリアの方向性の助けになるでしょう。そんな魅力的な指導医がたくさんいるはずです。

2 SpecialistとGeneralistの視点をもつ医師になれる

各診療科で専門性の高い医療を実践することでSpecialistの視点を、救急科や総合診療科や小児科などの研修ではGeneralistの視点を持つことができます。

3 救急に強い医師になれる

救急患者搬入数は県内随一であり、重症度の高い症例も多いことが特徴です。救急専門医が常駐しており、スタンダードな救急診療を身につけることができます。

5 充実した環境で研修を行える

研修医の机に1台ずつ電子カルテ配備、医局のWi-Fi環境、文献検索常時可能(Clinical Key・Up To Date・Medical Finderなど)、レストランや毎日焼き立てのベーカリーなど、環境が整っているため研修はより充実します。

6 そのまま専門研修へ進むことができる

内科・総合診療科・外科・小児科・整形外科・産婦人科・麻酔科・救急科は、3年目以降当院での専門研修に進むことができます。症例は豊富であり、最短での専門医取得が可能です。

Be a top doctor!

研修プログラム

研修スケジュール

1 年目					2 年目
内科系 36 週	外科系 8 週	産科・婦人科 4 週	精神科 4 週	自由選択 26 週	
救急(救急科) 8 週	救急(麻酔科) 4 週	小児科 4 週	地域医療 8 週		

内科系	【必修】	①血液内科 + 腎臓・リウマチ科 ②内分泌・代謝内科 + 総合診療内科 ③消化器内科 ④循環器内科 ⑤呼吸器内科 ⑥脳神経内科を全て6週ずつローテート
外科系	【必修】	①消化器外科 ②脳神経外科 ③整形外科 ④心臓血管外科 ⑤泌尿器科の中から1~2科選択
精神科	【必修】	①新潟市民病院 ②河渡病院 ③新潟信愛病院 ④白根緑ヶ丘病院 ⑤佐渡総合病院の中から選択
地域医療	【必修】	①新潟県立坂町病院 ②新潟県立津川病院 ③佐渡市立両津病院 ④あがの市民病院 ⑤山北徳新会病院の中から選択(外来研修4週を含む)
自由選択	【選択】	36科全ての科から選択可能(地域医療選択の場合は4週以内で可能)

研修医から聞いた 研修プログラムのここがポイント!

01 広く網羅的な内科研修がよい

医師として大切な
基本的臨床能力を修得できる!

02 外科と救急研修が8週間ある

医師として大切な基本手技や
救急対応を修得できる!

03 全研修期間を通して
救急初期診療を学べる!

救命救急センターでの
本当の救急とは??

次ページへ

04 選択期間は全ての科から選択できる!

病理診断科、緩和ケア内科、臨床検査科、集中治療科
などもあり、選択の幅が広い!

実際のローテーション例

1年目												2年目																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
S研修医	オリエンテーション	循環器内科		呼吸器内科		脳神経内科		血液内科 腎臓・リウマチ科		内分泌・代謝内科 総合診療内科		麻酔科		産科		消化器内科		小児科		心臓血管外科		精神科		地域医療		救急科		循環器内科		内分泌・代謝内科		脳神経内科		腎臓・リウマチ科	
I研修医		呼吸器		麻酔科		整形外科		脳神経内科		血液内科 腎臓・リウマチ科		内分泌・代謝内科 総合診療内科		小児科		消化器内科		循環器内科		精神科		消化器外科		救急科		地域医療		産科		放射線診断科		消化器内科		病理診断科 消化器外科	
M研修医		脳神経内科		消化器外科		救急科		麻酔科		産科		血液内科 腎臓・リウマチ科		内分泌・代謝内科 総合診療内科		消化器内科		小児科		精神科		循環器内科		呼吸器内科		地域医療		消化器外科		産科		整形外科		心臓血管外科 麻酔科	



本当の救急 とは？

救急当直での学び

全研修期間を通じて、月約4回の当直業務を行います。1年目は準夜帯(17:15~24:00)、2年目は深夜帯(0:00~8:30)を担当します。なお、当直後の勤務は免除となります。

当直では、研修医が主体的に問診・診察を行い、臨床推論をすすめます。救急医のサポートのもと、検査・治療を決定します。common diseaseから重症度・緊急度の高い疾患まで、内因性疾患・外傷・中毒・心肺停止など様々な病態を経験します。

また、縫合・腰椎穿刺・気管挿管・胸腔ドレナージ・シーネ固定など多彩な手技や救急ならではの薬の使い方を実践の中で学びます。

救急医療は専門科との連携が必須であるため、手術・緊急処置・専門科コンサルトの適応やタイミングをしっかりと学びます。

以上のプロセスを何度も繰り返し、救急医からリアルタイムにフィードバックを受け、そして自らを振り返る。これにより、確かな知識に基づくスタンダードな、本当の救急初期対応の実践ができるようになるのです。



必修診療科・分野

内科

ウィリアム・オスラーの「医学は患者と共に始まり、患者と共にあり、患者と共に終わる」という信念に基づき、ベッドサイドでの学びを重要視しています。内科としての基本的な診療技術や態度はもちろんのこと、さらにそれぞれの専門科における手技や治療も修得します。内科的思考は、たとえどの科に進むとしても非常に重要となります。

外科

基本的な外科手技の修得、術前後の周術期の全身管理の実践が目標です。周術期では、手術侵襲に対する生体反応をベッドサイドで観察し、対応を学びます。手術室では、切開・縫合・結紮といった基本的な外科手技を何度も反復し、しっかりと見につけてもらいます。緊急患者も多く、緊急手術の適応をリアルタイムに学ぶことができます。

麻酔科

術前に回診を行い、適切な麻酔法の検討を行うことから始まります。麻酔法は、全身麻酔・脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・末梢神経ブロックなど複数の方法から最善の麻酔法を選択します。術中の麻酔管理のなかで、気管挿管・人工呼吸器管理・動脈ライン確保・中心静脈路確保など多くの手技も修得できます。

救急科

全国的にみても大規模な救命救急センターを有し、救急科を中心に全診療科が協力して救急医療を実践しています。救急科研修や当直を通じて、急性期疾患・外傷・中毒など様々な救急患者の診療を救急専門医とともにを行います。24時間常駐する救急医による指導のもと、多様な病態の初期治療、重症患者の治療などの修得を目指します。急患外来で、いかに最初の1時間を制するか、その思考を学びます。

小児科

Common diseaseから重症度や専門性の高い病態まで幅広い小児診療を経験することができます。小児科指導医は、呼吸器・アレルギー・循環器・腎臓・内分泌・神経・救急など様々な分野の専門性をsubspecialityとして持ち、ときにgeneralな視点からときに専門的な視点からの指導を受けることができます。一方で、総合周産期母子医療センターでもあるため、新生児医療も経験できます。

産科・婦人科

緊急母体搬送や帝王切開も含め、分娩実績が多く、ハイリスク妊娠を中心に周産期管理を学ぶことができます。母体・胎児集中治療室(MFICU)と新生児医療センター(NICU)を有していることも特徴です。助産師ら多職種との連携はとても重要であり、チーム医療に参加することで多くの学びを得ることができます。婦人科は予定手術だけでなく、急性腹症症例も多いことから、急性期の診療や手術など幅広く経験値を積むことができます。

精神科

当院精神科では身体合併症を有する精神疾患症例を経験することができます。そのなかには、せん妄や認知症といった病棟でよく遭遇する病態も含まれ、精神科ならではの視点で診療や治療を学べます。また、連携する病院では、精神保健・医療を外来・入院診療に参加しながら修得します。

地域医療

連携する病院で、その地域の特性に即した医療を経験します。一般外来ではcommon diseaseや慢性期病態の管理を学び、在宅医療も含めた地域医療研修を通じて、医療・介護・保健・福祉の連携を肌で感じてもらいます。病院と地域社会とのつながりをリアルに学ぶことは、非常に大切な経験となるでしょう。地域ごとにそれぞれ魅力がたくさんあり、充実した研修になることは間違いありません。

研修医の声

1
Interview

濱田 美和（北海道大学）

ロールモデルに出会えましたか？

たくさん出会えます。学術的に活躍されている先生が多数いらっしゃり、素晴らしい着眼点や深い考察力に毎日驚かされています。また、人としても尊敬できる先生ばかりで、患者さんや研修医、多職種の方々への接し方も日々学ばせていただいています。「自分もこんな風になりたい！」という憧れが今の自分の原動力になっていると感じます。

学生へのメッセージ

当院のマッチングはテストがありハードルが高いように感じるかもしれませんが、心配はいりません！私は全く勉強が進んでいない状態でしたが、とりあえず受けてみようという気持ちで受けました。実際に研修してみて、当院は胸を張っておすすめできます。受けないのは、本当にもったいないです！まずは、当院の良さを感じるために、ぜひ一度見学にいらしてください！



daily schedule

脳 卒 中 科

- 8:00- 8:30 ◆ カルテ確認、病棟回診
- 8:30- 9:30 ◆ 脳卒中科・脳外科合同カンファ、新入院患者・急変患者プレゼン
- 9:30-10:00 ◆ チームカンファレンス
- 10:00-12:00 ◆ カルテ記載、病棟業務(処方・点滴オーダーなど)、急患対応
- 12:00-12:30 ◆ 昼食
- 12:30-13:30 ◆ 病棟業務
- 13:30-15:00 ◆ 脳血管撮影や経食道心エコー
- 15:00-16:30 ◆ カルテ記載、病棟業務、調べ物や抄読会の準備
- 16:30-17:00 ◆ 病棟回診
- 17:00-19:00 ◆ 一日の振り返り、調べ物
- 19:00 ◆ 帰宅

希望日は帰宅後も急患来院時にcallあり

daily schedule

消化器外科

- 8:30 ◆ チームミーティング(カルテ診)
- 8:30-9:00 ◆ 指導医と病棟業務
- 9:00 ◆ 病棟回診
- 9:30 ◆ 手術(鼠径ヘルニア手術 執刀!)
- 13:00 ◆ 昼食
- 13:40 ◆ 手術
- 16:00 ◆ 病棟チーム回診
- 17:00 ◆ カンファレンス準備・サマリ作成
- 18:30 ◆ 帰宅



山田 絢也（秋田大学）

実際に研修してみてよかったところ

優しく熱心な指導医の先生が多いところがとても良かったです。また同期や先輩後輩もやる気にあふれていて、日々刺激を受けています。

休日は何をしていますか？

食えることが好きなので、主に新潟市内の気になった飲食店をめぐるっています。

学生のうちにやっておきたいことは？

友達とたくさん遊んでおくこと！今しかできないことを思いきり楽しんでください！

学生へのメッセージ

遊戯三昧…よく遊び、よく学ぶ！

2
Interview3
Interview

久住 宙晃（新潟大学）

研修病院選びのポイント

病院の規模、指導体制、雰囲気…最後は直感でした☆

市民病院を選んだ決め手は？

新潟市内で、救急に強く、幅広い診療科が揃っている総合病院であったこと！

市民病院の魅力は？

1人1台、電子カルテがあることが嬉しいポイント！研修医室では、研修医同士で症例を振り返るプチ検討会がよく開かれていて、日々学びがあります！

学生へのメッセージ

百聞は一見にしかず！ぜひ一度、見学に来てください！

プロフェッショナル



daily schedule

救 急 科

- 8:00- 8:30 ◆ 担当患者さんのカルテチェック・診療
- 8:30- 9:15 ◆ ERで上級医と急患対応
- 9:30-10:30 ◆ カンファレンス、抄読会
- 10:30-12:00 ◆ ERで上級医と急患対応
- 12:00-12:30 ◆ 昼食
- 12:30-17:15 ◆ ERで上級医と急患対応
- 17:00-17:30 ◆ 当直の研修医に引き継ぎ
- 17:30-19:00 ◆ 担当患者さんの診療、その日の症例の振り返り
- 19:30 ◆ 帰宅

Introduction 私たちの病院を 紹介します



1階中央ロビー



明るく開放的です

図書室



専用HPを備えた20万5千点の医学資料があり、
24時間院内外で利用可能です

ベーカリー



甘い香りに誘われて...
お昼やおやつには焼きたてパンを♪



外来待合スペース



たくさんの患者さんがいらっしゃいます

外来ロビー



アクアリウムは待ち時間の癒しです



職員食堂



60種類以上のメニューと
日替わりランチで毎日飽きません

売店



ワンコインの日替わりランチBOXは
大盛でもお値段変わらず!



CT室



水族館のような装飾。院内に3台あります

手術室



13部屋あり、年間7,000件を超える
手術数でフル稼働しています



医局



席は1・2年混合なのでいつでも相談できます

CVCハンズオンセミナー



シミュレーターを使用した
模擬演習の機会も充実しています



急患外来



研修医が主体となってER業務を行います

急患外来



救急車搬送用の部屋。
診察に必要なものは一通り揃っています

デシュパンデ先生の教育回診



厳選された症例を通して、
総合診療的アプローチを学びます

研修医研究発表会



2年目の終わりに今までの研究成果を発表します



先輩からのメッセージ



佐藤 洋輔

昭和医科大学 脳機能解析・デジタル医学研究所 所長
昭和医科大学医学部 脳神経外科学講座 教授

絶対に見逃せない体験が、ここにはある

William Osler 先生著、日野原重明先生訳の「平静の心」という本を読んで（一読をおすすめします）、私が新潟市民病院初期研修を志したのが今から約20年前になるのは感慨深いです。当時の私もそうでしたが、皆さんの多くは何科へ進もうか、どういう医者になるべきか等、期待と不安が混在している状態だと思います。また、既に専攻科も決心していて将来の自らの医師像が見えている方もいると思います。皆さんがどういう状況であったとしても、新潟市民病院はロールモデルとなる先輩たちが多種多様にいらっしゃるの、積極的に様々なことを学べる素晴らしい環境であることを私は一先輩として保証します。

チームが最高のパフォーマンスを発揮するために自分が果たすべき役割を実践すること、臨床現場で気付いた課題には気付いた自分が主導で解決を目指すこと、一緒に働いてくれる人たちの協力を尊敬し感謝すること…新潟市民病院初期研修を通して、医療人としての信条の礎が自然と形成されることでしょう。

大胆不敵にスタートダッシュを切ってください！



文 智勇

Dell Medical School,
The University of Texas at Austin

夢に向かって成長できる場所

私は学生の頃から小児心臓外科医を志しており、できるだけ多くの救急症例や一般的な疾患を経験したいという思いから、新潟市民病院を初期研修先を選びました。実際の現場で身につけた知識や手技は、今でも日々の診療に生きています。

現在は米国で小児心臓外科医として勤務し、University of Texasで臨床やレジデント、フェローの教育に携わっています。その中で改めて感じるのは、新潟市民病院での研修がいかに実践的で、将来に繋がる基盤を築いてくれたかということです。充実した指導体制に加え、志を共にできる同期との出会いも貴重でした。

新潟市民病院には、医師としての第一歩を安心して踏み出せる環境が整っています。皆さんの将来像を形にするための確かな一歩を、ぜひここで踏み出してみてください。

プロフェッショナルを目指す先輩からのメッセージ



平成31年度研修医
救急科専門医PG修了

島垣 俊理

救急科

ここで少し人生変えませんか？

地元・新潟を離れ県外の大学に通っていた私は、真面目とは程遠い学生でした。“不真面目な学生”から変わるきっかけが欲しく、「真面目な仲間に囲まれたら自分も変わるのでは？」と安易な動機で研修病院を選択。実際に働いてみると素晴らしい同期・先輩に恵まれ、日々刺激を受けながら成長できました。新潟市民病院だからこそ出会える、各分野の第一線で活躍する先生方による指導のもと、学生時代はあまり興味関心がなかった分野の面白さに気づくこともできました。

中でも学生時代から敬遠していた救急研修においては、救急医からの丁寧な指導を受けながら、ひたすらに手足を動かし、経験を重ね苦手意識を払拭できました。気づけば救急診療の楽しさに魅せられ、今は救急医として働いています。新潟市民病院で初期研修をしなければ、救急医と出会うことはなく、この道を選ぶことはありませんでした。

「どこで研修するか」は「どんな医師になるか」を大きく左右します。そして、その選択があなた自身を大きく変えます。私は想像していなかった自分に会えました。

あなたも、ここで少し人生変えませんか？



平成31年度研修医
麻酔科専門医PG修了

百瀬 未来

麻酔科

麻酔科って、地味だと思ってる？

でも実は、すべての外科手術に関わり、救急の最前線にも立つ科です。患者さんは新生児から高齢者まで、元気な人も、今にも命が尽きそうな人もいます。そのすべての命と向き合うのが、麻酔科の仕事です。

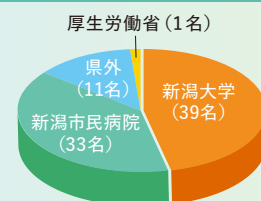
私は、そんな麻酔科の腕を本気で磨きたくて、新潟市民病院の専攻医プログラムに入りました。三次救急を担うこの病院には、毎日さまざまな患者さんがやってきます。だからこそ、多種多様な症例に触れ、密度の濃い経験が積める。この環境は、間違いなく自分を鍛えてくれると確信しています。

これからの日本は人口減少に伴い、確実に患者数が減っていきます。そんな時代だからこそ、「今」、数多くの経験を積むことで、自分の出来ることを増やしていくことが大切じゃないでしょうか。

もし本気で医師として成長したいなら、この新潟市民病院は、あなたにとって最高のステージになるはずです。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

臨床研修修了後は…

引き続き当院での専門研修プログラムや大学での研修など、種々の選択が可能です。同期の研修医とのつながりは一生の財産となります。

臨床研修修了後の進路
(2018～2024年度)

専門研修プログラム

～プロフェッショナルへの道標～

当院では、内科・外科・整形外科・救急科・総合診療科・麻酔科・小児科・産婦人科の専門研修プログラムを準備しており2年間の臨床研修後にそのまま進むことができます。

詳しくは
コチラから



悩める
医学生に
捧ぐ

我々が 市民病院の魅力

by
現役研修医



病院概要

- ウィリアム・オスラーによる「患者とともにある全人的医療」を理念とし、新潟市と周辺地域100万人を診療圏にもつ、急性期医療の基幹病院です。
- 新潟市民病院は昭和54年度(1979年)より、厚生省指定臨床研修病院として卒後臨床研修を行い、平成9年度(1997年)からは、スーパーローテートの研修方式に完全移行しました。また、平成16年度の卒後臨床研修必修化に際して、単独型臨床研修病院として臨床研修プログラムを全面改訂いたしました。平成18年度からは、管理型臨床研修病院として、平成21年5月からは、基幹型臨床研修病院として、臨床研修を行っています。
- 2007年には全国で9番目に、卒後臨床研修評価機構(JCEP)から臨床研修病院に認定されました。以降、毎年審査評価を受けており、全国レベルでの質の高い研修を行っています。

DATA R6年4月～R7年3月

病床数	676床(感染症8床を含む)	ヘリコプター搬入回数	72回/年
医師数	225名(研修医28名を含む)	ドクターカー出動回数	688回/年
外来患者数	977.4名/日	手術数	6,772件/年
在院日数(一般病棟)	11.1日	剖検数	11件/年
救急車搬入台数	6,410台/年		

診療科

血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓・リウマチ科、呼吸器内科、感染症内科、腫瘍内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、総合診療内科、緩和ケア内科、小児科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科・呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、ペインクリニック外科、病理診断科、検査診断科、脳卒中科、救急科、新生児内科

学会指定施設

日本内科学会・日本専門医機構内科領域専門研修プログラム認定施設 日本血液学会専門研修認定施設 日本輸血・細胞治療学会I&A制度認定施設 日本輸血・細胞治療学会臨床輸血看護師制度指定研修施設 日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設 日本糖尿病学会認定教育施設 日本甲状腺学会認定専門医施設 日本腎臓学会認定研修施設 日本透析医学会専門医教育関連施設 日本リウマチ学会教育施設 日本高血圧学会専門医認定研修施設 日本神経学会専門医制度教育施設 日本頭痛学会認定教育施設 日本認知症学会教育施設 日本臨床神経生理学会施設認定 脳波分野、筋電図・神経伝導分野準教育施設 日本呼吸器学会認定施設 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設認定 日本消化器病学会専門医制度認定施設 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 日本肝臓学会専門医制度認定施設 日本消化管学会胃腸科指導施設 日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 日本心臓インターベンション治療学会認定研修施設 日本心臓インターベンション治療学会IMLシステム施設認定 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術実施施設 日本不整脈心電学会バルスフィールドアブレーション実施施設 IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設 日本循環器学会左心耳閉鎖システム実施施設 日本循環器学会トランスカテーテル型心アミロイドーシスに対するピンケル導入施設 日本不整脈心電学会パワードソースによる経静脈的リード除去術施設認定	日本超音波医学会超音波専門医研修連携施設 日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設 経カテーテル的心臓弁治療関連学会経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設 日本栄養治療学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設 日本栄養療法推進協議会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設 日本栄養治療学会栄養サポートチーム(NST)専門療法士認定教育施設 日本病院総合診療医学会認定施設 日本病院総合診療医学会病院総合診療専門医研修施設プログラム 総合診療専門医検討委員会・日本専門医機構総合診療領域専門研修プログラム認定施設 日本緩和医療学会認定研修施設 日本小児科学会・日本専門医機構小児科領域専門研修プログラム認定施設 日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設 日本内分泌学会認定教育施設(小児科) 日本小児科学会専門医制度修練施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本大腸肛門病学会認定施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本食道学会全国登録認定施設 日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B 日本食道学会食道外科専門医認定施設 日本外科学会・日本専門医機構外科領域専門研修プログラム認定施設 日本胃癌学会認定施設A 日本膵臓学会認定指導施設 日本乳癌学会認定施設 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構修練施設(基幹施設) 下肢静脈瘤血管内治療実施施設 ステントグラフト実施施設(腹部・胸部) 日本整形外科学会専門医制度研修施設 日本手外科学会認定研修施設 日本脊髄神経病学会脊髄神経外科専門医基幹研修施設 日本脊髄神経病学会椎間板髄素注入療法実施可能施設 日本整形外科学会・日本専門医機構整形外科領域専門研修プログラム認定施設 日本脳神経外科学会専門医訓練施設 日本脳卒中学会専門医認定研修施設 日本脳神経血管内治療学会専門医研修施設	日本脳卒中学会一次脳卒中センターコア(PSC) 日本小児外科学会専門医認定施設 日本形成外科学会認定(連携)施設 日本乳房オンコプラステックサージャリー学会認定 ・乳房再建用インフラット(一次二期再建、二次再建)実施施設 ・乳房再建用ハバグダー(一次再建、二次再建)実施施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 重症薬疹診療拠点病院 日本泌尿器科学会専門医教育施設 日本産科婦人科学会・日本専門医機構産婦人科領域専門研修プログラム認定施設 日本女性医学学会専門医制度認定研修施設 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設 日本眼科学会専門医制度研修施設 日本内分泌外科学会専門医制度関連施設 日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関 オートプシー・イメージング学会AI撮影参加施設B 日本医学放射線学会画像診断管理認定施設 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 日本麻酔科学会・日本専門医機構麻酔科領域専門研修プログラム認定施設 日本ペインクリニック学会認定指定研修施設 心臓血管麻酔専門医認定施設 日本感染症学会認定研修施設 日本病理学会研修認定病院B 日本臨床細胞学会認定施設 日本病理精度保証機構外部精度評価認定施設 染色サーベイ(ER・HER2)・フォトサーベイ(ER・HER2) 日本救急医学学会指導医指定施設 日本集中治療医学会専門医研修施設 日本呼吸療法医学会専門医研修施設 日本救急医学会・日本専門医機構救急科領域専門研修プログラム認定施設 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設 日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医認定施設(基幹施設) 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医認定施設(基幹施設)
--	--	--